

音楽科

3年【35時間】

目 標	<p>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽を親しんでいく態度を養う。</p>
-----	---

学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	歌唱 ・花 ・合唱曲	<p>【知技】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。</p> <p>【思判表】曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p> <p>【主】音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>
	鑑賞 ・ブルタバ	<p>【知技】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p> <p>【思判表】知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【主】音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>
	器楽 ・リコーダー	<p>【知技】楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思判表】曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p> <p>【主】楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
2	歌唱 ・帰れソレントへ	<p>【知技】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【思判表】曲にふさわしい歌唱表現についてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p> <p>【主】音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>
	鑑賞 組曲「展覧会の絵」から	<p>【知技】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p> <p>【思判表】知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>【主】音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>
	器楽 ・リコーダー	<p>【知技】楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思判表】曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p> <p>【主】楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
3	歌唱 ・卒業式に向けて	<p>【知技】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【思判表】曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p> <p>【主】音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>

|

|